(平成二十一年度寮歌

清き野心を胸に秘めます やしん むね ひ 故郷を去りし若人が 六華雪解に 佇みてりつかゆきげ たたず し憩わんこの宿舎

明く迄語り日々は行き

酒飲み宴、

し夜は更けて

輝き永久に絶やさずや燈火闇に浮かび出づ

不断の尽力忘るまじがなる。だんで、ことのかり、この時にこそが、この時にこそ

常に寮生が高みなり 埋想の自治を手にするは

丸田潤君 作歌・作曲